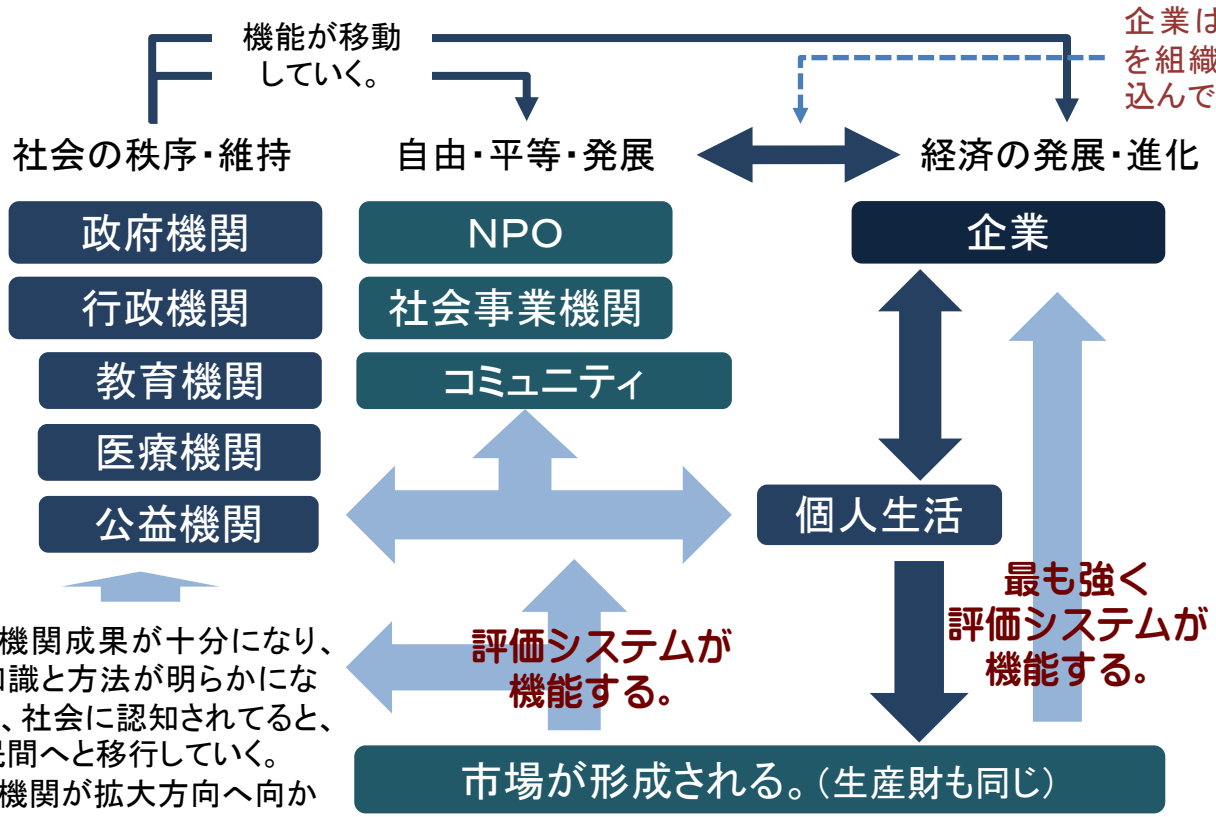
社会に存在する組織の分類

組織は社会にあって、社会の機能の１つを果たす。
企業は、社会にある市場を通して、存続を賭けた評価を常に受けている。



機関成果が十分になり、知識と方法が明らかになり、社会に認知されてると、民間へと移行していく。
機関が拡大方向へ向かえば機能が低下する。時として統治意識が強くなり、負の要素が強くなる。

市場は、生活、文化、習慣、制度などのバランスが整ったときに形成される。
１つの商品のためには決して形成されない。

成功する企業人は改革者である場合が多い。
地域社会と市民形成に力を発揮する。

●第一のパターン　富の社会的責任
博物館、図書館などを建設。

●第二のパターン　企業の社会的責任
人道的事業の展開、教育機関の展開

●第三のパターン　もう一つの企業の社会的責任
社会問題の解決、人的資本の形成、自立した人間の養成、これらを事業機会へと転換した。

人の移動、モノの移動、カネの移動が自由になり、情報と知識の伝達距離と時間がゼロになった。
物理的な組織形態から、情報（遺伝子情報のような）を中心とする組織形態に変化しつつある。
組織形成の条件、方法が変化してくる。組織構造自体が変化する。

copyright SeedWin